

# 大正年茨城縣統計書第二編 學事ノ部

## 管内學事ノ狀況

### 總 說

本年度ニ於ケル本縣學事ノ狀況ヲ約言スレハ大體從來ノ方針ニ依リ施設經營ノ歩ヲ進メ之レカ發達進歩ヲ期シタリト雖時勢ノ進運ニ伴ヒ教育振興上幾多改善ヲ要スル點アルヲ以テ本縣ニ於テモ之レカ對策トシテ小學教育ヨリ中等教育、師範教育、實業教育ニ至ルマテ夫々其ノ目的ニ適應シテ實績ヲ擧ケンコトヲ期シ教科ノ內容ヲ改善シ其ノ充實ヲ圖リ教授、訓練、體育、衛生等ニ留意シ設備ニ關シテモ土地ノ狀況ト地方財政トヲ參照シ校地ノ變更、擴張、校舍教具ノ整備ヲ圖リ又優良ナル教員ノ選擇任用ニ就テハ特ニ意ヲ用ヒ各種講習會ヲ開催シテ教員ノ學力技能ヲ養ハシメ又俸給ノ増額、加俸、住宅料ノ支給等專ラ教員優遇ノ向上ニ努メタリ亦社會教育通俗教育ノ普及改善ヲ促サンカ爲メ巡回書庫展覽會等ノ新設、改善ヲ圖ルト共ニ各地ニ講習講話會ヲ開催シタリ、青年團体及處女會ニ就テハ内務文部兩省ノ趣旨ヲ享ケ之ニ本縣ノ實況ヲ斟酌シテ月進ノ大勢ニ後レサランコトヲ期シ補習教育ノ普及ト共ニ善良ナル氣風ヲ養成シ思想ノ動搖ヲ防遏センタメ青年團幹部ノ講習體育ノ獎勵等其ノ指導獎勵ヲ怠ラス亦學校ト實業界トノ連絡ニ就テモ一層其ノ關係ヲ密接ナラシメ其ノ他各般ノ事項ニ亘リ着實ナル施設經營ヲナシ教育ノ基礎ヲ益鞏固ナラシメンコトニ努メタリ

其ノ他郡市學務擔任書記ヲ會同セシメ學事施設上ノ事項ヲ指示及諮詢シ郡市長會議ニ於テモ學事施設上監督上ニ付キ意見ヲ徵シ或ハ協議ヲナサシメタリ學事ニ關シ令達シタルモノハ縣令二十件訓令七件告示七件ニシテ其ノ要領ヲ摘記スレハ次ノ如シ

### 縣 令

- 一、公立學校職員年功加俸支給規程中改正(縣令第三三號九日)
- 一、教育資金使用規則中改正(縣令第四〇號四日)
- 一、高等學校高等科入學資格試驗及專門學校入學者試驗檢定規程中改正(縣令第三一號一月二十三日)
- 一、縣立工業學校學則中改正(縣令第四號一月二十三日)
- 一、縣立農學校規則中改正(縣令第五號一月二十三日)
- 一、縣立商業學校學則中改正(縣令第六號一月三十日)
- 一、縣立學校授業料徵收規則中改正(縣令第七號一月三十日)

- 一、學齡兒童就學獎勵費補助規程廢止(縣令第一號二月六日)
- 一、縣立圖書館規則中改正(縣令第十一號二月六日)
- 一、農業補習學校教員養成所規則制定(縣令第二十一號二月十六日)
- 一、縣立農學校規則中改正(縣令第十三號二月十六日)
- 一、縣立中學校學則中改正(縣令第十四號二月十六日)
- 一、縣立中學校學則中改正(縣令第十五號二月十六日)
- 一、師範學校學則中改正(縣令第十一號二月二日)
- 一、女子師範學校學則中改正(縣令第十一號三月二日)
- 一、師範學校卒業生服務細則中改正(縣令第十二號三月二日)
- 一、工業學校學則中改正(縣令第十三號三月二日)
- 一、高等女學校學則中改正(縣令第十四號三月三日)
- 一、小學校令施行規則實施規程中改正(縣令第十一號三月二十七日)

### 訓 令

- 一、社會教育主事職務規程(訓令甲第一號二月二日)
- 一、縣立中學校ニ關スル調査事項報告方改正(訓令甲第二號九月二十九日)
- 一、公私立高等女學校及實科高等女學校ニ關スル查調事項報告方中改正(訓令甲第三十一號十月三日)
- 一、社會教育主事職務規程改正(訓令甲第三十一號十月二十日)
- 一、公立學校職員年功加俸取扱細則中改正(訓令甲第三十一號十月四十八日)
- 一、實業補習教育實施要項並學則標準(訓令甲第三十二號八月七日)
- 一、一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法施行ニ關スル取扱規程(訓令甲第四號大正十一年二月二十日)

### 告 示

- 一、實科高等女學校授業料改定(告示第一號四五月七日)
- 一、縣立鉢田中學校設置(告示第一百三號二月二十日)
- 一、下館高等女學校改稱(告示第一百三號四月二十三日)
- 一、全校位置指定(告示第一百三十五號三月十三日)
- 一、水海道町外六箇村學校組合立御城實科高等女學校變更改稱(告示第一百三十六號大正十一年三月十三日)
- 一、石岡實科高等女學校授業料改定(告示第一百八十二號三月三十日)

### 學 齡 兒 童

學齡兒童總數二十五萬六千九十二人內男十二萬七千六百五十五人、女十二萬三千三百七十七人ニシテ之レヲ前年度ニ比スレハ男二千二百六十七人、女二千二百二十四人ノ增加ナリ、而シテ就學兒童總數二十一萬三千六百五十七人ニシテ之レヲ前年

度ニ比スレハ男二千五百八十一人、女三千三百三十三人ノ増加ナリ而シテ就學ノ時期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ハ男九十九人二分五厘、女九十七人九分六厘、男女平均九十八人五分九厘ニシテ之レヲ前年度ニ比スレハ男ニ於テ一分五厘ノ女五分二厘、男女平均ニ於テ三分三厘ヲ増加セリ之レ畢竟其ノ督勵ノ効果ナリト信ス、就學督勵ニ關シテハ學齡兒童保護會ナシテ活動セシメ、或ハ學用品共同購入ノ方法ニ依リ廉價ナルモノヲ使用セシムルモノ多ク或ハ部落相互通児童ノ出席督勵ヲ勸奨シ而シテ縣費ナ以テ本年度就學獎勵費ニ對シ補助シタル金額ハ一千六百九十七圓ナリ又貧困者ノ兒童ニ對シテハ學用品日用品ヲ補給セシメ其ノ他特殊ノ方法ニ依リ教授ナサシムル等各方面ヨリ就學出席ヲ督勵ス、就學猶豫免除ノ處分ヲ了シタルモノノ多クハ其ノ原因疾病不具者ニシテ貧困ノ爲メニ依ル者少ナキモ猶豫者ノ機ニ掲上シタルモノ處分未了者中男百九人、女四百七十九人計五百八十八人ハ殆ント貧困ノ爲メ就學セサル者ナリ、是等ノ兒童ニ就テハ相當考慮シ居ルモ經費其ノ他ノ關係上未タ實施ノ運セニ至ラス學齡兒童調查ニ關シテハ縣ハ時々吏員ヲ派シテ之カ調査監督ノコトニ當ラシムルト共ニ郡市役事務檢閱ノ際年々指示注意ヲ與ヘ又規定ノ學齡簿檢閱ノ外學事年報調製前郡内數ヶ所ニ町村學務擔任書記及小學校長ヲ召集シ學齡簿出席簿其ノ他就學事務檢閱ヲ行ハシメカメテ帳簿ト實際トヲ一致セシムル様督勵シツヽアリ

小學校第三十六條第一項但書ニ依ルモノノ中師範學校附屬小學校ニ於テ修業スルモノ男二百五十一人、女二百八十七人ナリ又家庭又ハ其ノ他ニ於テモ尋常小學校ノ教科ヲ修ムルモノハ女百四十五人ニシテ是等ノ多クハ工場法ニ依リ工場ニ於ケル施設ニ係ルモノナリ而シテ教授時數ハ一週少クモ十二時以上トシ須要ナル學科ヲ授ク教員ハ概ニ小學校教員ヲ聘シ居レリ

## 小 學 校

市町村立尋常小學校百七十九校分教場六校尋常高等小學校三百七十七校分教場百四校高等小學校二校計六百六十八校ニシテ之レヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ四校ヲ減シタリ而シテ學校ノ種類ニ依リ其ノ增減ヲ比較スレハ尋常小學校ニ在リテハ本校ニ於テ八校ヲ減シ尋常高等小學校ニ在リテハ本校ニ於テ三校ヲ増シ高等小學校ニ在リテハ前年度ト異ナルコトナシ

學校ノ設備ニ於テハ多年來ヨリ督勵ノ結果漸次整備ノ域ニ達セントシツヽアリ而シテ本年度内ノ認可ニ係ルモノ内校舍ノ新築九校増築二十四校改築六校、校地ノ擴張ヲナシタルモノ十五校變更ヲナシタルモノ九校アリ

市町村立小學校ノ學級ハ尋常科三、千四百八十高等科六百十三補習科一學級計四千九十三學級ニシテ之レヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ五十學級ヲ增加シタリ而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單級ノモノヨリ三十二學級ノモノニ至ル其ノ内

最モ多キハ大學級ニシテ三學級ノモノ之ニ並キ高等科ハ單級ノモノヨリ十一學級ノモノニ至ル其ノ内最モ多キハ單級ニシテ二學級ノモノ之ニ並ケリ又學級制限超過編制ナヌモノ尋常小學校ニ於テ二十二學級、三十學級ノモノ各一校、尋常高等小學校ニ於テハ十九學級、二十一學級、二十二學級、二十八學級、三十學級、三十四學級、三十八學級ノモノ各一校、二十學級、二十二學級ノモノ各二校、二十五學級ノモノ三校ナリ

二部教授ヲ施行スルモノハ尋常高等小學校一校コシテ設備上ノ都合ニ依ルモノナリ

學校配置ノ狀況ハ概ね適當ノ位置ニ在リ而シテ特ニ兒童通學上困難ナル地方ハ分教場ヲ設置セルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メス

補習科ノ設ケアルモノハ尋常高等小學校一校ニシテ前年度ニ比スレハ二校ヲ減シタリ

加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ六十校(分教場共)尋常高等小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ百八十五校(分教場共)ニシテ尋常高等小學校高等科及高等小學校ニ於テハ手工、農業、商業、家事、其他數科ヲ課スルモノ三百七十五校ニシテ孰レモ該科加設ノ目的ニ從ヒ内容ノ改善充實ヲ圖リツヽアリ

授業料ハ尋常科ニアリヲハ徵收セシメサル方針ナレトモ市町村財政上眞ニ已ムヲ得サル爲メ之レヲ徵收スルモノ尋常小學校四校尋常高等小學校(尋常科)三校計七校ナレトモ貧困者ニ對シテハ相當減免ノ方法ヲ設ケアルヲ以テ國民義務教育ノ普及上別段ノ支障ヲ認メス

市町村立小學校本科正教員ヲ各學級ニ對照スレハ尋常科千三十人高等科二十一人ノ不足ニ當レリ教員ノ不足並良否カ兒童教育上ニ及ボス影響ハ測リ知ルヘカラサルモノアルヲ以テ其ノ充實ニ關シテハ多年企劃スル所ナリ而シテ應急ノ策トシテ縣教育會ヲシテ中等學校卒業者ノ爲メニ短期ノ講習ヲ開カシメ之レニ尋常小學校本科正教員ノ免許狀ヲ授與シ尙毎年施行シツヽアル小學校教員檢定試験ヲ獎勵スル等需要供給ノ圓滑ヲ計ランカタメ努メタルモノ充實ノ期ハ前途尙遠クシテ好結果ヲ見ルニ至ラサルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ而シテ之レカ不足ヲ補ハンカ爲メ准教員若クハ代用教員ヲ採用シ居ル狀態ニシテ目下ノ事情已ムヲ得サル所ナリ任免ニ就テハ特ニ之ヲ慎重ニシ可成勤續ヲ獎勵シ尙一面ニハ市町村ヲシテ義務教育國庫資擔法ニ依ル交付金ノ大部分ヲ以テ教育ノ俸給ニ充當セシメ増俸、加俸、住宅ノ施設、住宅料ノ支給等經濟ノ許ス限り增額ヲ圖リ之カ優遇ノ方法ヲ講シタリ

幼稚園ハ公立六私立六計十二ニシテ前年度ニ比スレハ公立二ヲ増シ私立三ヲ減シタリ而シテ其ノ設備モ概ね備レリ幼兒男四百四十四人、女四百三十六人、計八百八十八人ヲ收容シ保母十六人兼務者四人ニシテ之レヲ保育シ其ノ成績漸次良好ニ向ヒツヽアリ而シテ本年度保育滿期者ハ男三百十九人女二百九十二人ナリ

## 盲 哑 學 校

盲哑學校ハ私立一校ニシテ其ノ設備ハ畧ホ備ハレリ授業料ハ基本財產其他ノ收入ニ依リ徵收セス而シテ生徒ハ盲生男十八人、女一人、哑生男六名女七人ニシテ其ノ失官原因別ヲ掲記スレハ次ノ如シ

病 名	盲 生			病 名	哑 生		
	男	女	計		男	女	計
角 膜 炎	3	1	4	生 艶	2	3	5
紅 彩 炎	1	—	1	腦 膜 炎	3	1	4
網 膜 炎	2	—	2	中 耳 炎	—	1	1
濃 漏 性 眼 炎	5	—	5	血 族 結 婚	1	—	1
麻 痹	2	—	2	外 傷	—	2	2
癲 毒	2	—	2				
遺 傳 梅 毒	3	—	3	計	6	7	13
外 傷	1	—	1				
計	18	1	9				

## 師 範 學 校

師範學校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ハ畧ホ整備セラレタリト雖生徒增加ニ伴ヒ

師範學校ニ在リテハ校舍寄宿舍共ニ狭隘ヲ告ケ且ツ建築モ古ク改築ノ必要アリ  
有資格教員ノ教員免許状ヲ受得シタル事由別ハ次ノ如シ(表中×印ハ兼務ノモノ)

種別	師範學校	女子師範學校			計
		男	女	計	
帝國大學卒業ノ者	—	1	—	1	
高等師範學校卒業	9	4	—	13	
女子高等師範學校卒業	—	—	5	5	
農業教員養成所卒業	1	—	—	1	
音楽學校卒業	1	—	1	2	
日本體育會體操學校高等科卒業	—	1	—	1	
試験検定ノ者	10	×	1	—	10
計	21	×	6	6	33
			×	1	1

教員ノ需要供給勤續轉免、俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況ニ就テ畧記スルニ教員ノ多クハ勤續多年ニ直ルト雖年度内轉任退職等九名ノ異動ヲ見タリ而シテ各科教員ノ需要ハ供給ニ比シ少ナク有爲ノ人材ヲ招致スルコト困難ナリ俸給ハ教員平均額百十五圓(女子師範百六圓)訓導七十圓(女子師範六十八圓)ニシテ又年功加俸ハ年額四十八圓乃至百二十圓ヲ支給セリ生徒訓育ノ狀況ハ教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ニ基キ大體從來ノ方法ヲ繼承シ大要前年度ト異ナル所ナキモ外來思想ノ動搖ニツキテハ教授訓育各般ニ直リ絶エス之レカ善導ニ留意スルハ勿論悪影響ヲ及ボスヘキ事項ニ關シテハ各學科教授ノ際苟モ機會アル毎ニ教育者タルノ品性ノ陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且ツ體育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ身體ノ鍛錬健康ヲ圖リツヽアリ  
生徒ノ學業ニ就テハ生徒ヲシテ自學自習ノ慣習ヲ獎勵シ且ツ圖書館ノ利用實地ノ見學等實際的知識ノ收得ニ努ムル様指導シタル結果學業ノ成績漸次進歩ノ域ニ向ヘリ

生徒修學旅行ハ地理歴史理化ニ關スル實地踏査博物採集參觀ノ目的ヲ以テ師範學校ニ於テハ大津、京都、大阪、神戸、奈良、宇治、山田、日光、東京、横濱、箱根、鎌倉其他縣内數ヶ所ニ旅行シ女子師範學校ニ於テハ湘南地方木曾、京阪、伊勢地方及縣内數ヶ所ニ修學旅行ヲナシ孰レモ豫定ノ目的ヲ達シ生徒必身ノ訓練上少ナカラサル効果ヲ收メタリ

入學志願者ハ一時激減セシカ大正十一年ニ至リ漸ク増加ノ傾向ヲ示セルハ誠ニ喜ハシキ現象ナリ

本科入學者父兄ノ職業別ハ次ノ如シ

種 別	師範學校		女子師範學校		7
	第一部	第二部	第一部	第二部	
農業	68	26	6		
商務	1	1	3		1
公務及自由職	11	3	18		6
無計	—	—	3		4
	80	30	30		18

本年度卒業者ノ數ハ師範學校本科第一部五十四人、第二部三十人、女子師範學校第一部三十五人、第二部十六人ニシテ内一名奈良女子高等師範學校ニ入學シ其他ハ孰レモ各縣下小學校ニ就職シタリ。

附屬小學校ハ二校ニシテ其ノ設備ハ略ホ備ハレリ、兒童教育ニ關シテハ大體從來ノ主義方針ヲ繼續ス即チ教授コ於テハ實力養成ヲ主眼トシ知識技能ヲ確實ニ學習セシメンタメ自學自習ノ訓練ニヨリ自發活動ヲ促シ教授力ノ徹底ヲ期セリ且ツ教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ニ留意シ學校ト家庭及縣下各小學校ト連絡ヲ圖リ諸般ノ成績漸次良好トナリ。

師範學校ニ尋常小學校本科正教員養成ノ爲ニ講習科ヲ設ケ其ノ講習期間二ヶ年ニシテ講習員四十一人アリ、内本年度ニ於テ修了シタルモノ十九人ナリ。

以上ノ外、縣下小學校聯合教育研究會ヲ兩範學校ニ開催セシメ地理並社會教育ニ關シ協同的研鑽ヲ途ケタリ。

## 中 學 校

中學校ハ縣立七校ニシテ前年度ニ比スレハ一校ヲ増シタリ之レ即チ來年度開校ノ見込ヲ以テ鉢田中學校ヲ新設シタルニ依ル而シテ設備ハ各校共教育ノ普及ニ伴ヒ生徒定員增加シ從ツテ校舍寄宿舎ノ狹隘、教具校具ノ設備充分ナラサルモノアルヲ以テ之レカ整備ノ實現ニ努メツヽアリ。

有資格教員ノ教員免許状ヲ受得シタル事由別ハ次ノ如シ(表中×印ハ兼務ノ者△印ハ講師)

學校名 種 别	水 戸	太 田	土 浦	龍ヶ崎	下 妻	水 海 道	鉢 田	計	
帝國大學卒業	1	×	1	—	—	×	1	1	— × 2
高等師範學校卒業	3	1	2	4	4	2	5	1	20 × 2
臨時教員養成所卒業	1	1	—	—	—	1	—	—	1 △ 1 3

學校名 種別	水戸	太田	土浦	龍ヶ崎	下妻	水海道	鉢田	計
高等中學校卒業	—	1	—	—	—	—	—	1
専門學校卒業	1	2	△	1	1	—	—	6
其他ノ學校卒業	5	6	8	4	4	2	—	1
経験ニ依リ無試験検定ノ者	1	—	—	—	—	1	—	2
試験検定ノ者	11	4	7	4	9	7	* 1	42
							*	1
計	× 23	1 × 16	△ 1	20	13	17	16	105
					×	1	** 2	2
							△ 1	4
							× 1	1
							△ 1	1
							** 1	1
							△ 1	1
							** 1	1

備考 \* 印ハ新設ニ係ル縣立鉢田中學校ヲ區別セリ

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況ニ就テ畧記スルニ異動頻繁ニシテ永年勤續スル者少ナキ感アリ然シテ之レカ待遇モ幾分向上シタルモ未タ以テ満足ナリト云フヲ得ス隨ツテ優秀ナッ人材ヲ招致スルコト困難ナリ而シテ俸給ノ平均額ヲ示セハ校長俸給二千三百九十八圓教員俸給百十五圓ナリ

生徒訓員ニ就テハ從來ノ方針ニヨリ品性ノ陶冶ニ努メ質實剛健ノ氣風ヲ養ヒ道徳ノ實踐ヲ督勵シ尙偶發事項時事問題ニ就テハ各教科ト連絡シテ批判教授シ思想ノ善導ニ留意スルト共ニ學校教育ノ方針ヲシテ惣ラサランニトニ努メタリ生徒ノ學業ニ關シテハ教授ノ改善進歩ヲ圖リ且ツ目課ノ豫習復習ヲ督勵シ平素ノ勉學ヲ獎勵シ極度ノ一時的勉學ノ弊ヲ矯メ尙休業中ニ於テモ宿題ヲ課シ學力ノ増進ヲ圖リツツアレハ生徒ノ學力ハ一般ニ向上シ又體育ノ獎勵ニ就テモ意ヲ用ヒツアレハ相當ノ成果ヲ收メアルモノト認ム

生徒修學旅行ニ關シテハ地理、歴史、理化等實地研究ノ目的ヲ以テ縣内數ヶ所及東京、横須賀、湘南、日光、伊勢山田、京都地方ヘ旅行シ相當ノ効果ヲ收ムルヲ得タリ

本年度入學志願者ノ數ハ本科二千六百六十六人補習科六人計二千六百七十二人ニシテ内入學ヲ許可セシモノ本科八百人補習科六人計八百六人ナリ

本年度入學者父兄ノ職業別ハ次ノ如シ(×印ハ第一學年ヘ轉入學ノ者 \*印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學ノ者△印ハ全再入學ノ者)

種別	水戸	太田	土浦	龍ヶ崎	下妻	水海道	鉢田	計
農業	* 39 2	93 2	* 64 9	* 58 3	× 77 1 2	64 1 1	* △	395 1 19 1
水産業	1	2	1	—	—	—	—	4

種別	水戸	太田	土浦	龍ヶ崎	下妻	水海道	計
鑛業	3	1	—	—	—	—	4
工業	5	3	1	2	4	3	18
商業	48	22	50	19	30	14	183
道業	1	1	*△	1	1	1	18
交道業	9	2	3	1	2	1	148
公務及自由業	52	21	20	21	15	19	33
※	16	*△	*△	5	*	3	1
無職業	16	3	6	1	3	1	30
計	173	147	145	102	131	102	800
	※	10	13	9	3	5	3
	△	1	1			1	59
							3

備考 水戸中學校補習科ニ係ルモノ農業一、鑛業

一、公務及自由業四計六人ナリ

補習科ノ設アル學校ハ一校ニシテ入學者ハ概ネ各種上級學校入學受驗準

備ニアルカ故コ四月ヨリ六月迄ハ出席概ネ良好ナルモ其ノ以後ハ缺席者

多ク遂ニ第二學期開始前後ニ於テ悉ク退學シタル状況ナリ

## 高等女學校

高笠女學校ハ縣立二校郡立一校計三校、實科高等女學校ハ郡立一校町立四校、組合立一校計六校ニシテ前年度ニ比スレハ高等女學校ニ於テ一校ヲ増シ實科高等女學校ニ於テ一校ヲ減シタリ之レ眞壁郡立實科高等女學校組織ヲ變更シ下館高等女學校ト改稱シタルニ依ル然シテ設備ハ年ヲ逐フテ整備ニ努メツバアルモ實科高等女學校ニアリテハ校舎ノ新築、増築若クハ校具教具ノ購入ヲ要スルモノ少ナカラス

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次ノ如シ(表中\*印ハ兼務、X印ハ女子△印ハ講師)

種別	高等女學校			實科高等女學校						計
	水戸	土浦	下館	龍ヶ崎	太田	石岡	下妻	古河	御城	
高等師範學校卒業	2	3	—	—	—	—	—	—	—	5
女子高等師範學校卒業	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
X	6	1	—	1	—	—	—	—	—	8
音樂學校卒業	X	1	1	—	—	—	—	—	—	2
臨時教員養成所卒業	X	2	1	—	—	—	—	—	—	3

種 別	高 等 女 學 校			實 科 高 等 女 學 校						計
	水 戸	土 浦	下 館	龍ヶ崎	太 田	石 岡	下 妻	古 河	御 城	
其ノ他ノ學校卒業	-	-	-	-	-	-	x	2	-	x 2
試験検定ノ者	5 x	6 1x	4 x	1	1	1 x	1 2	1 x	2 x	1 1 x 11
無試験検定ノ者	2 x	2 △	2 x	3	-	x	1 x	1	-	x 3 12 1 23
計	9 * x	10 1△ 12x	10 1x 9	4 x	1 1x	1 1x	1 3x	1 2x	4 x	1 2 1 38

教員ノ需用供給、勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シテハ大體師範學校、中學校ニ於テ述ヘタル事項ト大差ナキヲ以テ特記スヘキモノナシ生徒、訓育ニ關シテハ別段ノ新施設ナキモ從來ノ方針ニ則リ生徒ノ道德意識涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ修養ニ努メ且ツ覗下思想界ノ動搖ニツキテモ之カ善導ニ留意シ一面溫良貞淑婦德ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒ家庭トノ連絡ニ注意シタルニヨリ生徒學業ノ進歩モ一船ニ良好トナリ

本年度入學者父兄ノ職業別ハ次ノ如シ(表中×印ハ第二學年以上ニ係ルモ△ハ再入學ニ係ルモナリ)

種 別	高 等 女 學 校			實 科 高 等 女 學 校						計
	水 戸	土 浦	下 館	龍ヶ崎	太 田	石 岡	下 妻	古 河	御 城	
農 業	44 * △	103 * 2	29 31 *	34 5	37 * 2	30 * 3	41 7	23 7	32 -	373 53 2
水 產	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7
鑄 金 業	-	--	-	-	-	-	-	-	-	-
工 商 業	2 * 1	1 * 46	1 2 44	14 15	11 15	15 * 1	12 1 * 59	8 4	8 11	15 * 182 19
交 通 業	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
公 務 及 自 由 業	82 * 15	33 2 *	8 6	2	4	7	6 1	5 1	5	153 24 33
無 職 業	16 * 4	16 1 *	1 1	-	-	-	-	-	-	6
計	203 * △	199 3 *	53 54 *	51 5	52 * 2	52 * 4	59 4 *	39 12	56 *	764 105 2

### 實 業 學 校

農學校ハ縣立一校、郡町村立十校計十一校、商業學校ハ縣立一校、町立一校計二校、工業學校ハ縣立一校、工業學校ニ屬スル技藝學校ハ町立四校、實業補習學校ハ縣市町村立四百九十九校、總計五百十七校ニシテ前年度ニ比シ四校ヲ増シタリ

縣立農學校ニ於ケル設備ハ養蠶科加設ニ件フ建築並ニ增築等ハ前年度完成シタ

ルモ屋内體操場、寄宿舎、倉庫等緊要ナルモノアリ郡町村立農學校ノ設備ハ大體前年ト異ナルコトナク漸次改善セラレ教具校具等教授上差支ナキ程度ニ至レリ而シテ村立菅谷農學校ハ經費ノ關係上本年度限リ廢校シタリ

縣立農學校ノ教員ハ有資格二十二人無資格六人(内兼務者一人ナリ)有資格教員ノ資格別ヲ示セハ次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 十九人

文部大臣ノ認可シタル者 三人

郡町村立農學校教員ハ有資格者五十六人(内女二人ヲ含ム)外ニ兼務者六人無資格者五人(内女三人ヲ含ム)ナリ有資格教員別ハ次ノ如シ(表中\*ハ兼務×ハ女子)

種 別	西茨城	久慈	鹿島	稻敷	新治	眞壁	小瀬	菅 谷	奥 野	結 城	計
	(郡立)	(郡立)	(郡立)	(郡立)	(郡立)	(郡 立)	(村 立)	(村 立)	(村 立)	(町 立)	
大正八年文部省告示第一九二號第一項第一號該當者	-	*	1	1	2	3	-	-	-	1	10
全 第 二 號 該當者	4	1	2	3	1	6	3	4	5	3	39
文 部 大 臣 ノ 認 可 シ タ ル 者	*	1	-	X	1	-	-	-	1	4	2
計	4	3	4	8	9	2	8	4	5	4	54
	*	1	*	1	X	1	1	X	1	5	6

生徒訓育ニ就テハ其ノ施設ニ於テ各校多少ノ差異ナキニアラサレトモ實際地方ニ適應スル實際農業者ノ教育ヲ目的トシ尊農ノ思想勤勞美風、質實剛健ノ氣風ノ養成ニ努メツハアルヲ以テ生徒學業ノ進歩モ一般ニ向上シツハアリ

入學志願者ハ逐年增加ノ傾向ニアリ而シテ縣郡町村立農學校ヲ通シテ千五百二十九人ニシテ其ノ内入學許可シタルモノ千四十一人ナリ

學校ト實業界トノ關係ハ絶エス諸種ノ機會ヲ利用シテ相互ノ接近ヲ圖リツハアリ

縣立商業學校及町立商業學校設備ニ就テハ特記スヘキモノナシ

縣立商業學校ノ教員ハ有資格十六人全兼務者一人無資格二人ナリ有資格教員ノ資格別ヲ示セハ次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 十五人内一名兼務者

文部大臣ノ認可シタル者 一 人

町立商業學校ハ有資格教員五人ニシテ其資格別ハ次ノ如シ

大正八年文部省告示第一九二號第一項第一號該當者 一 人

全 第 二 號 該當者 四 人

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼續シ商業道德ノ養成ニ重キヲ體キ之カ指導獎勵ヨ努メタル結果學業モ漸次良好ニ向ヘリ

生徒實習及修學旅行ニ關シテハ縣立商業學校ニ於テハ縣内數ヶ所及上級學年ハ東京關西地方ヘ修學旅行ヲナシ其ノ地方ノ地理、歴史並ニ商業ノ狀況人情風俗等

ヲ観察シ裨益スル所歎ナカラス

學校ト實業界トノ關係ニ就テハ商業會議所ト連絡ヲ保チ地方當業者ト親シク懇談シ意見ヲ交換スル等相互ノ利益ヲ増進セシメンコトニ努タリ

工業學校ハ縣立一校ニシテ其ノ設備ハ大體前年ト異ナルコトナシ器械器具等モ遂次購入シ完備ニ努メツハアリ

教員ハ有資格者十一人全兼務者一人無資格者五人ニシテ有資格教員ノ資格別ハ次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 十一人、兼務者一人

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ工業家ニ適スル品性ノ養成ニ努メタレハ生徒學業ノ進歩モ一般ニ良好ニ向ヘリ

生徒實習及修學旅行ニ關シテハ工業界ノ趨勢ニ鑑ミ專門的知識ノ開發ト技能ノ發達ヲ圖ル爲メ專チ實務ノ練習ニ力ヲ致セリ修學旅行ハ會社工場、試驗場、學校等ノ實地作業ノ設備ノ狀況ヲ觀察研究セシメンカタメ縣内數ヶ所及東京、横須賀、京都大阪方面へ旅行シ相當ノ効果ヲ收メタリ

入學志願者ハ本科六十八人機械科八十六人ニシテ前年度ニ比スレハ機械科稍減少シタリ而シテ入學ヲ許可シタルモノハ本科三十四人機械科三十九人ナリ  
學校ト實業界トノ關係ニ就テハ地方當業者ト連絡ヲ保チ相互ノ利益ヲ圖リツハアルハ從前ト異ナルコトナキモ當業者ヨリ質疑ニ係ル釀造ニ關スル事項、蓄電池ニ關スル事項、鑛石石灰ノ分折等ニ關スル依囑等ニ就テハ斯業ノ助長ニ多大ノ効果ヲ與ヘタルモノト認ム

工業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ町立三校ニシテ其ノ設備ニ就キテハ特記スヘキモノナシ

教員ハ有資格者四人全兼務者二人無資格者三人ナリ而シテ其ノ有資格教員ノ資格別ハ次ノ如シ(表中\*印ハ兼務×印ハ女子)

種別	大子女子 技藝學校	潮來	全	結城	全	計
大正八年文部省告示第一九二條第一項第一號該當者		—	—	—	1	—
全 第二號該當者	X	1 1	* 1	* X	1 1	* X
文部大臣ノ認可シタル者		—	—	—	1	—
計	X	1 1	* 1	* X	1 1	* X

生徒訓育ニ關シテハ大體從來ノ方針ニ則リ國民道徳ノ振興婦徳ノ養成技能ノ發達ニ留意シ尙社會ノ大勢ニ鑑ミ訓育上ニモ意ヲ用ヒタル結果學業ノ進歩モ良好ニ向ヘリ實業補習學校ハ四百九十九校ニシテ農業四百六十一校、商業十六校水產四校其他十八校ナリ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ六校ヲ增加セリ而シテ縣立商業學校ニ附屬セルモノ一校其ノ他ハ孰レモ市町村立小學校ニ附設シ教員ノ大部分ハ小學校ヨリ兼務シ農閑期ヲ利用シ夜間ニ於ケル季節教授多ク通年教授少ナ

シ之レカ教育ノ普及改善ニツキテハ大ニ刷新ノ必要ヲ認メ實業補習教育實施要項ヲ制定シ且ツ女子補習教育機關ノ増設専任教員ノ任用ヲ獎勵シタリ尙各町村ニ補習教育獎勵委員ヲ委嘱セシメ入學出席ノ督勵ヲ圖リ地方公共自治團ノ中堅人物ノ養成ニ努メツヽアリ

## 各種學校

各種學校ハ私立學校三十六校ニシテ前年度ニ比シ二校ヲ減シタリ而シテ現存セル三十六校中目下休校廢校同様ナルモノ六校アリ而シテ大多數ハ個人經營ニシテ維持困難ナル爲メ設備モ完備セリト云フヲ得ス

然レトモ相當教員ヲ有シ教授ヲナシツヽアレハ地方青年子女ノ教導ニ貢獻スル所渺ナカラス

## 學校衛生

學校清潔法ノ施行ハ學校衛生上最モ重要ノモノナレハ法規ノ定ムル所ニヨリ嚴重ニ執行セシメ又毎年定期ニ生徒兒童ノ身體検査ヲ施行セシメ其ノ成績ニ留意シ學校衛生ノ改善進歩ニ努メタリ公立學校ニ學校醫ヲ設置シタルモノ小學校五百五十、師範學校二、中學校六、高等女學校九、甲乙種程度ノ實業學校十七校計五百八十四校ニシテ兼務者多ク其ノ實人員三百四十一人ナリ而シテ學校觀察ノ狀況ハ中學程度ノ學校ニ於テハ比較的可ナルモ其ノ他ニ於テハ充分カラサルモノアリ學校醫ノ實人員ヲ資格ニ依リ區別スレハ次ノ如シ

帝國大學醫科大學醫學科卒業者	五
元東京大學醫學部醫科本科又ハ別科卒業ノ者	六
官立醫學專門學校醫科及元高等學校並高等中學校ノ醫學部醫科卒業ノ者	一三〇
大阪府京都府愛知縣醫學校及元府縣立甲種醫學校卒業ノ者	五
東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了ノ者	三
其ノ他醫衛開業免狀ヲ有スル者	一九二
計	三四一

學校衛生ニ關シテハ常ニ嚴重ナル注意ヲ拂ヒ體育上ノ設備モ漸次整頓セラレツヽアルニヨリ生徒及兒童ノ健康狀態ハ概シテ良好ナリ

傳染病豫防及消毒ニ關シテハ各學校共近來甚深ナル注意ニヨリ内外ノ清潔法ハ勿論通風、採光、机腰掛ニ至ルマテ適當ノ處理ニ努メツヽアルモ經濟上ノ關係ヨリ未タ充分ナリト云フヲ得ス尙流行性感冒ニ就テハ適切ナル豫防宣傳ニ努メ撲滅ノ方法ヲ講シタル結果罹病者極メテ少數ナリキ

## 學校園、學林及樹栽

學校園ハ各學校ニ於テハ校舍ノ周圍ニ小規模ノ教材園ヲ設置スルモノ多ク之ヲ完備ヲ督勵シツヽアリ學林ハ山間部ニ於テ設置シツヽアルモノハ其ノ成績可ナルモ他ハ未タ見ルヘキモノ少ナシ而シテ學校園、學林ノ植栽及手入ハ生徒兒童ヲシテ之ニ當ラシメタリ

## 教員検定及免許状授與

小學校教員検定ハ試験ニアリテハ毎年一回無試験ハ隨時之ヲ施行ス而シテ本年度内検定人員ノ總數ハ八百五十六人ニシテ合格者五百二十二人ナリ尙前年度ニ對照スルニ免許状授與者二百人多キハ主トシテ大正九年度准教員養成講習並裁縫專科正教員修了者ニ對シ本年度ニ於テ検定免許状ヲ授與シタルト縣教育會開設ノ尋常小學校本科正教員養成講習者ニ對シ検定免許状ヲ授與シタルニ由ル其他師範學校卒業ニ依ル者百三十五人ニシテ免許状授與總人員ハ六百五十七人ナリ

## 教員講習會

講習會ハ縣ニ於テ開催セシモノ中等學校教員ニ對シ倫理、小學校教員ニ對シ農業、理化、體操各一回ニシテ延日數二十三日講習人員三百四十二人ナリ縣教育會ニ於テモ小學校教員ノ爲メ算術、地理、歷史、物理、化學、水府流水泳各一回延日數二十四日此ノ講習人員三百二十人又郡市教育會ニ於テモ各學科ニ涉り講習會ヲ開催回數二十六回此延人員二千百十七人ナリ其他縣教育會ニ於テハ尋常小學校本科正教員養成ノ目的ヲ以テ春秋二回中等學校卒業者ニ對シ六週間ノ講習ヲナシ六十三人ノ修了者ヲ出セリ尙小學校教員ノ日曜講習等ヲ獎勵シ各科ニ就キ實際的研究ヲナサシメタルヲ以テ孰レモ相當ノ効果ヲ收メタリ

## 教科用圖書

教科用圖書供給狀況ハ概シテ良好ナリ而シテ小學校ニ於テハ圖書ノ種類ニ依リ學年ノ始メニアリテハ多少不足ヲ告ケタル所アリタルモ其ノ後供給ニ努メタレハ教授上格別ノ支障ヲ來ササリキ

## 圖書館

圖書館ハ公立十三、私立十四計二十七ニシテ其設備ハ縣立ノ分ハ整備セルモ其ノ他ハ概シテ完全ト云フヲ得ス藏書總數ハ和漢書十一萬六千百五十八冊、洋書五千四百三十六冊其ノ他六百四十七冊計十二萬二千二百四十一冊閱覽人員總數十四萬六千五百九十七人ニシテ縣立圖書館ハ和漢書七萬九千百三十五冊洋書四千九百六十四冊、其ノ他四百七十三冊ヲ有ス全館ノ本年度開館日數ハ三百二十二日閱覽人員二萬七千三百三十三人、巡回文庫ニ係ルモノ二百四十二日其ノ閱覽人員二萬七千七百四十八人ナリ其他館外携出閱覽人員六萬八千百六十六人ニシテ此ノ一日平均二百四人一分ナリ閱覽圖書ノ部類ハ文學書最モ多ク「美術、諸藝遊戲」「歴史、傳記、地理、紀行」「理學、工學、醫學」順序ニシテ「法律、政治、統計」「產業、商業、工業宗數」ハ其ノ數渺ナシ而シテ閱覽人員ノ種別ハ學生、生徒、兒童多數ヲ占メ官公吏、教員、實業、軍人等ナリ

公私立圖書館中ニハ巡回文庫ノ施設ナヌモノ十六アリ又青年會等ノ施設ニ係ルモノ多ク地方改良上及通俗上ノ裨益スル所尠ナカラス

### 教育博物館其ノ他常置教育的觀覽施設

教育博物館ノ設ナク常置教育的觀覽施設トシテ大禮記念茨城縣立教育參考館ノ設ケアリ本館ハ縣下教育ノ普及改善ニ資益スル目的ヲ以テ設置シタルモノニシテ其ノ設備ハ畧ホ備ハレリト雖モ時勢ノ進運ニ伴ヒ尙補足ヲ要スルモノ専ナカラス

陳列品ハ總數六千十九點ニシテ内本館ニ係ルモノ千五百七十三點保管委託ニ係ルモノ二十六點出品及借入ニ係ルモノ四千四百二十點ニシテ本度購入ノ主ナルモノヲ舉クレハ動植物標本及模型、電氣器械等ナリ而シテ本館ハ階上階下ニ區別シ階上ハ歴史的ヲ中心トシテ御大禮ニ用ヰシ衣冠、義烈兩公ノ肖像並ニ遺墨之レニ生徒成績品、陶磁器、度量衡、紙類鉛筆、砂糖、人造絹、マツチ等ノ製作順序等ナリ、階下ハ博物的ヲ中心トシテ水陸ノ鳥獸魚類、昆蟲類、本縣產出ノ鑄物、秋刀魚、蟹、綱ノ漁業圖並ニ實物、臺灣瓜哇土人ノ刀劍並ニ日用製作品、衛生ニ關スル米麥酒醬油ノ分拆、胎内小兒ノ發育順序模型、簡易救急器等ナリ

閱覽人ハ總數二萬九千六百五十八ニシテ前年度ニ比スレハ二萬二千七百六人減少セリ其ノ理由ハ展覽會ノ開催數少ナキ爲メニシテ十年十月開催シタル計量展覽會入場人員一萬九百九十五人ヲ控除スルトキハ平時ノ閱覽人員ハ一萬七百七人ナリ閱覽人ハ紳士淑女、青年處女會、學校ノ團體ノ來觀者多ク教育普及上多少ノ裨益ヲ與ヘタルモノト信ス

### 教育品展覽會

教育參考館ニ於テハ大正十年十月七日ヨリ五日間計量ニ關スル知識ヲ普及センカ爲メ計量展覽會ヲ開催セリ其ノ出品物ハ農商務省其他各官署、個人等ヨリ参考品ヲ借入レ其ノ點數三百餘點ニ達セリ其ノ外圖書館ノ一部ヲ解放シ活動寫眞ヲ應用シ計量ニ關スル講演ヲナシタリ尙同月九日ヨリ三日間本縣社會課ヨリ大戰ポスターヲ借入レ水戸市役所樓上ニ陳列シ一般ノ縱覽ニ供シタリ開會中ハ兩天ニモ拘ラス遠來ヨリノ觀覽者非常ニ多ク相當効果ヲ收メタリ

其ノ他數町村聯合シ或ハ單獨ニテ兒童成績品展覽會ヲ開催シタル學校甚々多ク學校ト家庭トノ連絡向學心ノ振興上裨益スル所少ナカラス

### 教育會

縣教育會ハ縣下各都市教育會ノ十五團體ヨリ成リ其ノ事業ノ重ナルモノハ小學校正教員養成ノ目的ヲ以テ中等學校卒業者及專科正教員、准教員等ノ在職者ニ對シ短期講習會ヲ開キ又尋常小學校准教員及裁縫專科正教養成ノ爲メ常設講習會ヲ開催シ其ノ他講習、通俗講話、教育調查會ノ開催、機關雜誌ノ刊行、小學校農業教科

書、青年補習讀本、同算術教科書等ヲ發刊シ本縣教育上貢獻スル所甚タ大ナリ郡市町村教育會ハ部内ノ教育關係者及有志ヲ以テ組織シ其ノ事業ノ重ナルモノハ教員ノ講習、通俗教育、講話會、圖書館ノ施設、教育時報ノ發行、學事觀察、教育功勞者優良兒童ノ表彰、學齡兒童ノ保護獎勵等ニシテ地方教育上ニ貢獻シツヽアリ

### 青年團體及處女會等

青年團體ハ縣下各市町村トモ設置セラレ團體數三百九十六此ノ團員數ハ六萬九千七百九十五人、處女會ハ會數二百九十六會員數二萬五千百十人ヲ有ス而シテ青年團體ハ統一聯合指導ノ機關トシテ各郡ニ青年團設ケラレ又縣内全部ヲ統一シタル縣青年會アリ而シテ青年團體ニ就テハ内務文部兩大臣ノ訓令若クハ通牒ノ趣旨ニ基キ本縣ノ狀況トヲ斟酌シ社會教育主事ヲ置キ指導督勵ニ努メツヽアリ又團體ノ經營スル事業ノ主ナルモノハ講習會、敬神崇祖ニ關スル事業、補習教育ノ普及、風紀ノ改善、武道體育ノ獎勵、公共事業ノ助成、青年文庫ノ經營、基本財產ノ造成等ナリ

處女會ニ在リテハ各町村トモ設置スルニ至ラス極設經營上尙改善ヲ要スル點渺ナカラス故ニ既設團體ノ改善ト其ノ設置ヲ獎勵シ青年團體ノ指導訓練ト相俟ツテ大イニ努メツヽアリ而シテ其ノ重ナル事業ハ補習教育ノ普及、講話會ノ開催、修身家事作法ニ關スル修養、實行要目ノ制定、表彰、慈善事業、體育ニ關スルモノ等ニシテ兩者共ニ地方開發ニ盡ス所渺ナカラス

### 通俗教育

通俗教育ノ普及ニ關シテハ地方公共團體及教育會ト協力多年努ムル所アリタルヲ以テ其ノ成績モ漸次良好ニシテ發達ノ機運ニ向ヘリ而シテ本年度ニ於テハ縣教育會ニ講習講話費トシテ千九百圓ヲ交付シテ講話會ヲ直接開催セシメ又郡市教育會主催講話會ニ講師ヲ派遣セシメタリ本年度都市町村ノ公共團體及私設團體等ニ於テ講演會講話會ヲ四百七十三回開催シタリ又郡教育會青年團ニ於テ巡回文庫ヲ經營シ公衆ノ閲覽ニ供シ居ルヲ以テ講演會ト相俟ツテ通俗教育普及上裨益スル所少ナカラス

### 教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ノ現在數ハ社團法人八、財團法人五計十三ナリ

### 縣郡會及市町村會

縣郡市町村會トモ教育費ニ關シテハ概シテ慎重ニ審議シ能ク原案ニ協賛シ漫ニ削減ヲ加フルコトナク適當ノ決議ヲナスノ状況ナリ

### 學事關係職員及學事觀察

本縣學事係員ハ視學官一人、縣視學二人外ニ兼務者二人、屬六人、屬四人外ニ兼務者一人計十六人ナリ。都市學務委員ハ都市學十四人、都市書記十七人(内兼務者二人)、郡吏員一人、屬二人ナリ。

本年度學事視察ハ視學官、縣視學ハ専ラ學校ノ設備、教授、訓練、管理ノ良否並ニ教育事務ノ整否ヲ視察シ、郡市ニ於テハ專任書記ナシテ事務ニ當ラシメ郡視學ハ専ラ學校視察ニ從事セリ。

各市町村ニ於テハ三名乃至八名ノ學務委員ヲ置キ、夫々市町村ノ教育事務ニ當ラシメタリ。

### 學事獎勵

學事獎勵ヲナシタルモノヲ舉クレバ、縣ニ於テハ實科高等女學校、實業學校、盲哑學校、縣教育會、教員互助會、縣育才會等ニ對スル補助金交付、小學校教員住宅費補助、巡回圖書館補助、就學獎勵費補助、縣青年會補助等ニシテ、前年度ト同様獎勵ヲ愈ラス又、郡市町ニ於テモ各種ノ方法ヲ設ケ、就學及出席ヲ督勵シ、優良教員功勞者ノ選獎、優良兒童ノ表彰其ノ他、貧困兒童ニ學用品ノ給與又ハ貸與ヲナシ、教育會、學齡兒童保護會及青年會處女會等ニ補助ヲナシ、其ノ發達ヲ助成スル等、銳意教育ノ普及、發達ニ努メツツアリ。

### 將來學事施設上須要ノ件

- 一、學校設備ノ充實、內容改善ヲ圖ルコト
- 一、就學事務ノ改善ヲ圖リ、義務教育ノ普及ヲ期スルコト
- 一、教員ノ修養的施設ヲ圖リ、職責觀念ノ向上ニ努ムルコト
- 一、男女中等學校ヲ建設シ、教育ノ普及ヲ圖ルコト
- 一、社會教育ノ普及、補習教育ノ振興ヲ圖ルコト
- 一、青年會處女會ノ向上發展ヲ圖リ、一層活動セシムルコト
- 一、健全ナル思想涵養ニ努ムルコト
- 一、學校基本財產ノ増殖ヲ圖ルコト

### 公學費及公學資產

本年度公學費支出總額五百十一萬五千四百六十二圓ニシテ、內縣ニ屬スルモノノ七十九萬九千九圓、縣、郡ニ屬スルモノノ十六萬六千五百八十一圓、市ニ屬スルモノノ十一萬九千四百二十二圓、町村ニ屬スルモノノ四百三萬四百五十圓ニシテ、之ヲ前年度ニ比スレハ總額ニ於テ二萬八千八百二十四圓ノ增加ナリ、又公學收入總額ハ七十九萬八千四百八十三圓ニシテ、內縣ニ屬スルモノノ十七萬八千七百二十九圓、郡ニ屬スルモノノ五萬三百九十一圓、市ニ屬スルモノノ一萬六千五百十七圓、町村ニ屬スルモノノ五萬三百九十一圓ニシテ、之ヲ前年度ニ比スレハ總收入ニ於テ十萬五千九百十

八圓ノ増加ナリ而シテ公學費支出ノ重ナル原因ハ教育進歩上自然ノ結果ト依然物價騰貴ノ影響ニシテ學校教員ニ對スル待遇ヲ高メタル生徒兒童增加ニ伴ヒ備品ノ購入ヲ要シタルト其他補習教育ノ獎勵及各種補助ヲ増シタル等ニ因リ增加ヲ見タリ、又總收入ニ於ケル增加ハ授業料、雜收入、補助等ノ增加ト寄附金ノ受入ノ多カリシ爲ソナリ而シテ以上ノ收入ハ孰レモ支出ノ幾分ヲ補フニ過キスシテ其ノ不足額ハ縣、郡、市、町村ノ負擔ニ係ルモノナリ。

學校基本財產ハ金額ハ師範學校ニ千六百六十二圓、縣立圖書館ニ九十八圓、市立小學校ニ四千三百十五圓、町村立學校ニ五、十六萬七千九百四十七圓、計五十七萬四千二十二圓、土地ハ町村立學校ノ分ノミニシテ二百二十九萬二千九百二十三坪ナリ之レヲ前年度ニ比スレハ金額ニ於テ四萬八百八十三圓、土地坪數ニ於テ三萬三千二百九十七坪孰レモ增加シタリ、又積立金ハ市立小學校ニ六十八圓、町村立小學校ニ五萬八千六百九十九圓、計五萬八千七百六十七圓ニシテ前年度ニ比シ一萬一千五百九十四圓ヲ增加シタリ。

是等金額ハ公債證書又ハ有價證券ヲ購入シ若ハ郵便貯金其ノ他確實ノ方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又土地中田畠ハ貸付森林其ノ他ハ櫟木植樹ヲ爲シ以テ將來ノ利益ヲ圖レリ。

## 教 育 資 金

教育資金總計十七萬六千八百六十九圓九十錢八厘ニシテ之レヲ前年度ニ比スレハ三萬三百八十九圓九十五錢ノ減少ナリ而シテ本年度小學校設備費トシテ貸付タル金額ハ六萬八千五百圓ニシテ前年度ニ比シ三萬六千圓ヲ減シ又本年度戻入タル金額ハ六萬三百九十二圓五十錢ナリ、教育資金支出額ハ貸付金額及資金繰入額ヲ除キ經常費一萬三百四十三圓臨時費五千二百五十二圓計一萬五千五百九十五圓ニシテ其ノ費目別ハ次ノ如シ

設 備 費	一、五二五圓	(教育參考館及學校衛生、社會教育ニ關スル設備)
補 助 金 額	三、九〇二圓	
小學校衛生費	一、七八四圓	
社會教育費 大體記念教育參 考館費	三、〇七九圓	
教員ノ疾病療治 料給與金額	二、一三五圓	
教員ノ獎勵其ノ 他ノ善及改善ニ 支出シタル金額	一、八二〇圓	此給與人員 六人
	一、三五〇圓	

以上支出費目中ノ補助金額三、九〇二圓ヲ更ニ細別スルハ就學獎勵補助二千五百八十圓、茨城縣教員互助會補助千圓、小學校聯合教授法研究會補助百二十五圓、郡町村教育會補助百九十七圓ナリ。

## 市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額九萬四千三百七十圓五十六錢ニシテ年功加俸支給金額七萬三千六百五圓九十九錢特別加俸支給金額四千八百七十九圓九十七錢ナリ其ノ差引殘額一萬五千八百八十圓六十錢ハ翌年度ニ繰越シ公債證書ノ外ニ銀行ニ預ケ置ケリ而シテ其ノ給與シタル狀況ハ次ノ如シ  
一、年功加俸

本科正教員 金六萬七千五百九十一圓四十九錢

專科正教員 金三千六十八圓

准 教 員 金二千九百四十六圓五十錢

一、特別加俸

單級尋常小學校ニ在勤スル者ノ金額 六百八十五圓九十八錢

加俸令第七條第二項ニ該當スルモノノ金額 千四百十五圓二錢

僻険地ノ尋常小學校ニ在勤スルモノノ金額 二千七百七十八圓九十七圓

### 市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金ニ關スル件

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ本年度管内市町村ニ交付サレタル金額ハ二十四萬九千四十九圓八十六錢ニシテ前年度ニ比シ七百七圓九十二錢ヲ減シタリ而シテ交付金ハ教員俸給及住民負擔ノ輕減等ニ充當シタルヲ以テ市町村經費ノ幾分ヲ緩和スルニ至リタリト信ス尙本年度交付金ノ支途ヲ種別スレハ次ノ如シ

種 別	市	町	村
教員ノ俸給ニ充當シタル金額	5,284		195,322
教員ノ増俸ニ充當シタル金額	—		1,497
教育施設ノ改善ニ充當シタル金額	—		21,400
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—		19,605
他ノ經費ニ充當シタル金額	—		4,941
計	5,284		242,765

### 公學費及公學資產增減事由

## (一) 県ニ属スルモノ

本年度支出總額ハ七十九萬九千九百圓ニシテ前年度ニ比シ八萬一千五十圓減シタルハ學校教員及書記俸給旅費其ノ他ノ諸費等ニ於テ增加シタルモ新營費ニ於テ著シク減シタルニ基因シ支出總額減少シタリ而シテ學校教員及書記俸給旅費ノ增シタルハ時勢ノ進運ニ伴ヒ待遇ノ一端トンテ俸給旅費ヲ増額シタルニ因リ又其ノ他ノ諸費ヘ社會教育機關ノ設置實業補習教育獎勵ノ爲メ補助シタルト其他各種團體等ニ對スル補助ヲ増シタルニ因ル、新營費ノ減シタルハ一般物價騰貴ニヨリ經費ノ節約ヲ圖リタル結果ニシテ土浦高等女學校入建築、太田中學校、商業學校ノ増築及工業學校排水工事ニ要シタルモノナリ

本年度收入總額十七萬八千七百二十九圓ニシテ前年度ニ比シ三萬六千二百三十一圓增加シタルハ授業料、雜收入、國庫補助ノ增加シタルニ依ル而シテ授業料ハ生徒增加ニヨリ雜收入ノ増シタルハ各學校ニ於テ入學試驗手數料ヲ徵收セント諸費却品ノアリタルニ因ル

## (二) 郡ニ属スルモノ

本年度支出總額十六萬六千五百八十一圓ニシテ前年度ニ比シ五萬九千六百五十四圓增加シタルハ學校教員俸給以下各費目ニ涉リ增加シタルニ因ルシ而シテ大部分ノ增加ハ茨城縣下館高等女學校(前年眞壁郡立實科高等女學校)ノ新設ニ伴フ校舍ノ新築及稻敷郡立龍ヶ崎實科高等女學校(前年稻敷郡龍ヶ崎町立實科高等女學校)ノ郡移管ニ係ル經費ト眞壁郡立農學校新治郡立農學校ニ於テ増築新築ヲナシタル爲メニシテ學校教員俸給及旅費ノ増シタルハ教員優遇ニ依ル増額ニシテ圖書器械標本費器具費ノ増シタルハ一般備品ノ購入ヲ要セシト價格ノ騰貴ニ因ル本年度收入總額五萬三百九十一圓ニシテ前年度ニ比シ二萬四千八百九十九圓增加シタルハ縣費補助ニ於テ減シタルモ授業料、寄附金、雜收入、國庫補助ノ增加シタルニ因ル而シテ授業料ノ増シタルハ生徒增加ニヨリ寄附金ハ高等女學校及農學校舍建築ニ係ル寄附ニシテ雜收入ノ增加シタルハ農學校ニ於テ不用賣却品ノ多カリシニ因ル爲メナリ

## (三) 市ニ属スルモノ

本年度支出總額十一萬九千四百二十二圓ニシテ前年度ニ比シ一萬五千四百一圓增加シタルハ學校教員俸給及旅費、圖書器械標本費、器具費、其ノ他ノ諸費ノ増シタルニ因ル而シテ學校教員俸給及旅費ノ増シタルハ教員ノ増俸學事視察ノ爲メ増額シタルニ因リ圖書器械標本費器具費ハ一般備品ノ購入多カリシニ因ル  
本年度收入總額一萬六千五百十七圓ニシテ前年度ニ比シ二千四百六十四圓增加シタルハ授業料、保育料、學校基本財產ヨリ生スル收入ノ増シタルニ因ル而シテ授業料保育料ノ増シタルハ兒童增加ニ因ル結果ニ基クモノナリ

## (一) 町村ニ屬スルモノ

本年度支出總額四百三萬四百五十圓ニシテ前年度ニ比シ三萬四千八百十九圓増加シタルハ新營費修繕費ニ於テ減シタルモ學校教員俸給以下各費目ニ於テ増シタルニ因ル而シテ新營費修繕費ノ減シタルハ財界ノ影響ニヨリ校舍ノ建築修繕チ一時差控ヘタル町村アルニ因リ學校教員俸給及旅費ノ增シタルハ縣郡市ニ述ヘタル如ク待遇ノ向上ヲ圖リタル爲メニシテ圖書器械標本費消耗品ノ增シタルハ教具ノ設備ニ努メタルト物價騰貴ニ基クモノナリ尙其ノ他ノ諸費ノ增シタルハ青年會教育會等ノ各種團體ニ對スル補助ヲ增シタルニ因ル更ニ內容ニ於テ實科高等女學校費ノ減シタルハ稻敷郡龍ヶ崎町立實科高等女學校ノ郡立ニ組織變更シタル爲メニシテ乙種程度ノ實業學校費ノ減シタルハ稻敷郡岡田村立農學校及鹿島郡村立若松水產學校ノ二校維持困難ニヨリ廢校シタルニ因ル又實業補習學校費ノ增シタルハ補習教育ノ獎勵ト其ノ進歩ニ伴ヒ經費ヲ多ク要シタル結果ニ因ルモノナリ

本年度收入總額五十五萬二千八百四十六圓ニシテ前年度ニ比シ四萬二千三百二十四圓増シタルハ授業料寄附金學校基本財產ヨリ生スル收入雜收入各補助ノ増シタルニヨル授業料基本財產ヨリ生スル收入ノ增シタルハ生徒兒童ノ增加ニ基キ寄附金ハ小學校舍建築ト實業補習學校設備費ニ係ル寄附ノ多カリシ爲メニシテ各補助ノ増シタルハ重ニ一年現役兵小學校教員俸給費國庫交付金ノアリシト實業補習教育獎勵補助ノ受入アリタルニ因ル

## 公 學 資 產

## (一) 縣ニ屬スルモノ

本年度ニ於ケル土地ハ敷地十六萬三千八百九坪附屬地二萬百二十一坪又建物ハ教場六千二百七十九坪其他一萬五千九百十四坪ニシテ之レヲ前年度ニ比スレハ土地ニ於テ敷地百七十八坪ヲ減シ附屬地ハ前年度ニ同シク建物ニ於テハ教場五百六坪其他百十二坪ヲ增加シタリ而シテ敷地ノ減シタルハ稻敷郡長ニ讓與シタルニ因リ教場及其他ノ增シタルハ太田中學校教室ノ增築商業學校教員室鏡器室ノ增築及土浦高等女學校ノ建築ニ因ルモノナリ土地價額乃至器具ニ於テ前年度ニ比シ六萬四千三百五圓增加シタルハ主トシテ新築增築及其ノ他一般備品ノ購入アリシニ因ル基本財產ノ增額ハ其ノ收入ヲ蓄積シタル爲ナリ

## (二) 郡ニ屬スルモノ

本年度ニ於ケル土地ハ敷地七千四百四十六坪附屬地四千三百六十八坪又建物ハ教場九百六十一坪其他一千二百二十二坪ニシテ之レヲ前年度ニ比スレハ土地ニ於テ敷地一千百八十六坪ヲ増シ附屬地ハ前年度ニ同シク建物ニ於テハ三百二十九坪其他百六坪ヲ增加シタリ而シテ以上ノ如ク增加シタルハ高等女學校ノ新築及實科高等女學校ノ郡移管ニ依ル結果ナリ土地價格乃至器具ニ於テ前年ニ比シ四萬二千五十六圓增加シタルハ前記ノ理由ニ基因スルモノナリ

## (三)市ニ屬スルモノ

本年度ニ於ケル土地ハ敷地一萬二千二百五坪建物ハ教場二千三百七十八坪其他九百二十五坪ニシテ前年度ニ比シ土地ニ於テ敷地ハ増減ナク建物ニ於テハ教場二百九十三坪、其地四十坪ヲ増シタリ而シテ以上ノ増加ハ校舎ノ増築ニ因ルモノナリ土地價額乃至器具ニ於テ前年度ニ比シ一萬八千百八十七圓增加シタルハ前記ノ理由ト一般備品ノ購入ヲ要シタルニ因ルモノナリ又積立金ノ減少シタルハ市内各小學校増築及修繕工事ニ之レカ財源トシテ充用シタルニ因ル。

## (四)町村ニ屬スルモノ

本年度ニ於ケル土地ハ敷地七十萬五千五百二十九坪、附屬地三萬八千六百十四坪、又建物ハ教場九萬六千三百六十七坪、其他四萬五千十坪ニシテ之レヲ前年度ニ比シスレハ土地ニ於テ敷地一萬七千四百九十一坪ヲ増シ附屬地六百十四坪ヲ減シタリ、建物ニ於テハ教場一萬三千六百十九坪其他三千七百二十一坪ヲ増加シタリ而シテ以上ノ増加ノ主ナル原因ハ校地ノ擴張、小學校ノ新築並ニ増築ニ因ルモノナリ土地價格乃至器具價格ニ於テ前年度ニ比シ八十二萬八千九百二十四圓增加シタルハ前記ノ理由ト其他ノ設備改善ニ努メタル結果ニ因ル爲メナリ、基本財產金額ノ増加ハ基本財產ヨリ生スル收入、寄附金、其ノ他ヲ蓄積シタル爲メニ因ル其ノ他不動産ニシテ増減シタルハ地目ノ變換賣却等ニ因リ積立金ノ増額ハ將來ノ爲増殖ヲ獎勵シタルニ因ル。

### 市町村立小學校公立實業補習學校 教員及幼稚園保姆恩給基金並恩給

恩給基本金總額十七萬五百九圓八十七錢三厘ニシテ之ヲ前年度ニ比シ二萬二千五百十二圓一錢ヲ増加シタルハ市町村納金ノ多カリシニ依ル恩給ニ關スル收入十三萬七千八十五圓二錢二厘シテ前年度ニ比シ三萬八千五百八十一圓十八錢多キハ國庫給與金縣費補充ノ多カリシニ依ル又恩給ニ關スル支出ハ十二萬七百六十六圓五十三錢人員六百三十七人ニシテ前年度ニ比シ金額ニ於テ三萬四千九百四十八圓六錢人員ニ於テ十二人ヲ増加シタリ。

### 府縣立師範學校及公立圖書 館職員國庫納金公費支出

國庫納金總額九千六百十八圓五十錢ニシテ前年度ニ比シ千九百八十八圓二十錢ヲ増加シタリ是レ正教員ノ增加ト俸給ノ增額及年功加俸納金ノ増シタルニ因ルモノニシテ又公費支出ハ二千六百五十五圓ニシテ前年度ニ比シ千六百七十圓ヲ増加シタリ。